

Express Connect

ユーザガイド

ユーザガイド

ルーターインターフェイス管理

Express Connect ルーターインターフェイスは、通信チャンネルをセットアップし、作動状態を制御するために使用される仮想装置です。

Express Connect は、両方のネットワークの VRouter にルーターインターフェイスを作成して接続することにより、イントラネット通信チャンネルを構築するプロセスをネットワーク間で抽象化します。これにより、両方の VRouter がチャンネルを介して互いにメッセージを送信することができます。

ルーターインターフェイスを作成するときは、ルーターインターフェイスの接続役割（イニシエータまたはアクセプタ）を選択する必要があります。イニシエータのみが接続を開始できます。

前提条件

ルーターインターフェイスを作成する前に、接続先リージョンと接続先 VPC の情報を取得する必要があります。

操作手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、**[ルーターインターフェイス]** を選択します。

右上隅の **[ルーターインターフェイスの作成]** をクリックします。**購入ページ**が表示されます。

請求方法については、**サブスクリプション** を選択してください。

注意：イニシエータとレシーバが別のアカウントにあって、レシーバルーターインターフェイスの場合は、請求方法として **従量課金** を選択してください。

次のオプションからシナリオを選択します。

VPC相互接続

2つのVPCを接続する場合は、このシナリオを選択します。詳細設定については、ルータインタフェースの設定 (VPC相互接続) を参照してください。

ダイレクトアクセス

専用回線をVPCに接続する場合は、VBRとVPCのルーターインターフェイスを別々に作成する必要がある状況で、このシナリオを選択します。詳細設定については、ルータインタフェースの設定 (物理アクセス) を参照してください。

どちらのシナリオを選択するにしても、ルータインターフェイスを作成した後、次の操作を行う必要があります。

- イニシエータとレシーバを同じアカウントで作成する場合は、各ルータインターフェイスに対してルートの設定を使用します。
- イニシエータとレシーバを別のアカウントで作成した場合、ピアルータインターフェイスの追加 > 接続の開始 > ルートの設定を使用します。

今すぐ購入 をクリックします。

注文の確認 ページで、有効化 をクリックします。

お支払い ページで、支払い をクリックします。

ルーターインターフェイスの有効化

概要

[無効] ステータスのルーターインターフェイスを有効化して、データの受け渡しを再開できます。

手順

1. ExpressConnect コンソール にログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[ルーターインターフェイス] を選択します。[ルーターインターフェイスリスト] リストページが表示されます。
3. 有効化するインターフェイスの[有効化] をクリックします。

4. **[確認]** をクリックします。

ルーターインターフェイス情報の編集

手順

1. ExpressConnect コンソールにログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、**[ルーターインターフェイス]** を選択します。**[ルーターインターフェイスリスト]** ページが表示されます。
3. 編集するルーターインターフェイスを選択し、**[詳細]**、**[ローカルインターフェイスの編集]** の順にクリックします。
4. 表示されるダイアログボックスで、ルーターインターフェイスの名前と説明を変更します。
5. **[OK]** をクリックします。

接続先ルーターインターフェイスの追加

前提条件

ルーターインターフェイスを作成する前に、接続インターフェイスの ID と名前を取得する必要があります。

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、**[ルーターインターフェイス]** を選択します。**[ルーターインターフェイスリスト]** ページが表示されます。

設定するルーターインターフェイスを選択して、**[追加]** をクリックします。

[アカウント] および **[接続先ルーターインターフェイス ID/名前]** を選択します。

[確認] をクリックします。

接続先インターフェイスと接続元ルーターインターフェイスが同じアカウントにある場合:

- **[現在のアカウント]** を選択し、ドロップダウンボックスから接続先ルーターインターフェイスを選

択します。ドロップダウンボックスのオプションは、リージョン、ルーターのタイプ、インターフェイスのステータスによりシステムで選択されます。

[現在のルーターインターフェイスを選択したVRouterの接続先インターフェイスとして設定します]を選択します。システムは自動的に、現在のルーターインターフェイスを選択されたルーターの接続先インターフェイスとして設定します。

接続先ルーターインターフェイスの情報を追加

アカウント： 現在のアカウント 他のアカウント

接続先 VRouter のタイプ： VRouter

* 接続先ルーターインターフェイス ID/名前：

注意: ルーターインターフェイスは、接続先ルーティングのリージョン、ルータータイプ、およびステータスに従ってフィルタリングされています。

現在のルーターインターフェイスを、選択した VRouter の接続先インターフェイスとして設定します。

OK キャンセル

接続先インターフェイスが別のアカウントにある場合:

[他のアカウント] を選択し、[接続先アカウントID]、[接続先 VRouter ID]、[接続先ルーターインターフェイス ID] を入力します。

接続先ルーターインターフェイスの情報を追加

アカウント： 現在のアカウント 他のアカウント

接続先 VRouter のタイプ： VRouter

* 接続先アカウント ID：

* 接続先 VRouter ID：

* 接続先ルーターインターフェイス ID：

OK キャンセル

接続先インターフェイスの情報を変更する必要がある場合:

[再度追加] をクリックして情報を変更するか、[詳細]、[接続先ルーターインターフェイスインターフェイスの編集] の順にクリックします。

ID/名前	モニタリング	VRouter(すべて)	接続先の場所	接続先ルーターインターフェイス	接続先の場所	接続方法	仕様	ステータス(未接続)	支払い方法	アクション
ri- on	bc	vrt- VRouter	Asia Pacific NE 1 (Japan)	再度追加	Asia Pacific NE 1 (Japan)	接続元	Large.2	未接続	サブスクリプション 01:00:00 有効期限	接続の開始

接続の開始

概要

接続元のルーターインターフェイスは、接続を作成し接続を確認すると、接続が開始され、接続元に対する課金が始まります。

手順

1. ExpressConnect コンソールにログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[ルーターインターフェイス] を選択します。[ルーターインターフェイスリスト] ページが表示されます。
3. 該当ルーターインターフェイスの[接続の開始] をクリックします。
4. 表示されるダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ID/名前	モニタリング	VRouter(すべて)	接続先の場所	接続先ルーターインターフェイス	接続先の場所	接続方法	仕様	ステータス(未接続)	支払い方法	アクション
ri- on	bc	vrt- VRouter	Asia Pacific NE 1 (Japan)	再度追加	Asia Pacific NE 1 (Japan)	接続元	Large.2	未接続	サブスクリプション 01:00:00 有効期限	接続の開始

ルートの設定

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、[ルーターインターフェイス] を選択します。[ルーターインターフェイスリスト] ページが表示されます。

設定するルーターインターフェイスを選択して、[ルート設定] をクリックします。

ルーターインターフェイス ID ルーターインターフェイス ID を入力し、完了

ID/名前	モニタリング	VRouter(すべて)	接続先の場所	接続先ルーターインターフェイス	接続先の場所	接続方法	仕様	ステータス(すべて)	支払い方法	アクション
ri- on	bc	vrt- VRouter	Asia Pacific NE 1 (Japan)	再度追加	Asia Pacific NE 1 (Japan)	接続元	Large.2	無効	サブスクリプション 01:00:00 有効期限	ルート設定 有効化 詳細

[ルートエントリの追加] をクリックします。

表示されるダイアログボックスで、[ターゲットのCIDR] を入力し、[次のホップタイプ] の [ルーターインターフェイス] を選択します。

[OK] をクリックします。

ルートエントリの追加 ×

*ターゲットの CIDR :
192.168.0.0/24 や 192.168.0.1 などの有効な CIDR または IP アドレスにする必要があります。

次のホップタイプ :

ルーターインターフェイス : 通常ルート ECMP ルート

ルーターインターフェイスの削除

概要

[未接続] または [無効] ステータスのルーターインターフェイスは削除できます。

手順

1. ExpressConnect コンソール にログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[ルーターインターフェイス] を選択します。[ルーターインターフェイスリスト] ページが表示されます。
3. 削除するインターフェイスの[詳細]、[削除] の順にクリックします。
4. [確認] をクリックします。

アクセスライン管理

アクセスラインの申請

概要

アクセスラインは、クライアントの IDC と Alibaba Cloud (VPC) の関連付けられたアクセスポートを接続する物理的接続サービスです。

制約

- Alibaba Cloud では、アクセス可能な各リージョンで 1 つ以上のアクセスポイントが提供されています。各アクセスポイントにはアクセスラインを利用できる通信事業者があります。アクセスラインを申し込む前に、Alibaba Cloud へのチケットを起票して、アクセスポイントと利用できる通信事業者の情報を入手できます。
- アクセスラインとしては、G.703 および V.35 形式の SDH インターフェイスには対応していません。

手順

1. ExpressConnect コンソール にログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[アクセスライン] を選択します。



3. 右上隅の [アクセスラインの申請] をクリックします。
4. 必要な情報を入力して、[申請] をクリックします。
5. 申請を提出した後、アクセスラインのステータスは [申請中] になります。Alibaba Cloud は、この申請を確認するため、2 営業日以内にご連絡いたします。申請が承認されると、アクセスラインのステータスは [承認済み] に更新されます。お客様は、[アクセスライン料金の支払い] をクリックする必要があります。
6. 支払いが済むと、Alibaba Cloud はアクセスラインのプロビジョニングを開始し、その時点でステータスは [アクセスラインの準備中] に更新されます。
7. プロビジョニングが完了した後、アクセスラインステータスは [標準] に更新され、接続が確立されます。

注意: プロビジョニングが失敗した場合、アクセスラインのステータスは [拒否] になり、再度申請する必要があります。

アクセスラインの取り消し

概要

アクセスラインは、プロビジョニングの間に取り消すことができます (つまり、ステータスが [申請中] または [アクセスラインの準備中] のとき)。

手順

1. ExpressConnect コンソールにログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[アクセスライン] を選択します。[アクセスラインリスト] ページが表示されます。
3. 取り消すアクセスラインを確認します。
4. [アクセスラインの取り消し] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

VBR管理

概要

VBR は、Customer Premise Equipment (CPE) とクラウドベースの VPC VRouter の間のルーターとして機能し、VPC から IDC にデータを転送します。

ExpressConnect コンソールでは、VBR を作成、管理、変更、削除できます。

制約

VPC の VRouter と同じように、VBR はルートテーブルを管理します。このルートテーブルでルートエントリを設定し、VBR によって転送されるトラフィックを管理します。

- 各 VBR は、ルートテーブルは 1 つだけ必ず持つ必要があります。
- 1 つのルートテーブルのカスタムルートエントリの最大数は 48 です。
- ソースアドレスポリシーのルーティングはできません。
- VBR は、静的ルーティングのみに対応します。

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、**[VBR]** を選択します。

3. 右上の **[VBRの作成]** をクリックします。

必要な情報を入力して、**[作成の確認]** をクリックします。



ルーターインターフェイスの作成

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、**[VBR]** を選択します。VBRリストが表示されます。

3. インターフェイスを作成する VBR を確認します。

[管理] をクリックします。

[VBRの詳細] ページで、**[ルーターインターフェイスの作成]** をクリックします。

6. 必要な情報を入力して、**[今すぐ購入]** をクリックします。

ルートエントリの追加

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、**[VBR]** を選択します。VBRリストが表示されます。

設定する VBR を確認します。

[管理] をクリックします。

[ルートエントリの追加] をクリックします。!

VBR の詳細 [VBR リスト](#) 1つのルートテーブルで作成できるルートエントリは最大 48 個です [ルーターインターフェイスの作成](#) [ルートエントリの追加](#) [更新](#)

基本情報		情報の変更
VRouter ID: vbr		ステータス: 標準
VRouter名: onlinetest		アクセスポイント: ap-ap-tokyo-A
VRouterの説明:		アクセスラインコード:

ビジネス情報 IPアドレスの変更

[ターゲットCIDRブロック] を入力します。[ネクストポップの方向] と [ネクストポップ] を選択します。[OK] をクリックします。

ルートエントリの追加 ×

* ターゲット CIDR ブロック:
有効なCIDR プレフィックスまたは有効な IP アドレスを入力してください (例: 192.168.0.0/24 または 192.168.0.1)

ネクストホップのタイプ:

ネクストホップの方向: VPC アクセスライン

* ネクストホップ:

VBRの管理

手順

- ExpressConnect コンソールにログインします。
- 左側のナビゲーションバーで、[VBR] を選択します。VBR リストページが表示されます。
- 管理する VBR を確認します。
- [管理] をクリックして [VBRの詳細] ページを表示します。その後、**VBR情報の表示、情報の変更、IP アドレスの変更、ルーターインターフェイスの作成、ルートエントリの追加**を行うことがで

きます。

情報の変更

手順

ExpressConnect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、[VBR] を選択します。VBRリストが表示されます。

変更する VBR を確認します。

[管理] をクリックします。

[VBRの詳細] ページで、[情報の変更] をクリックします。

表示されるダイアログボックスで、[VBR名]、[アクセスラインコード]、[VBRの説明] を変更して、[OK] をクリックします。

アクセスラインの冗長化

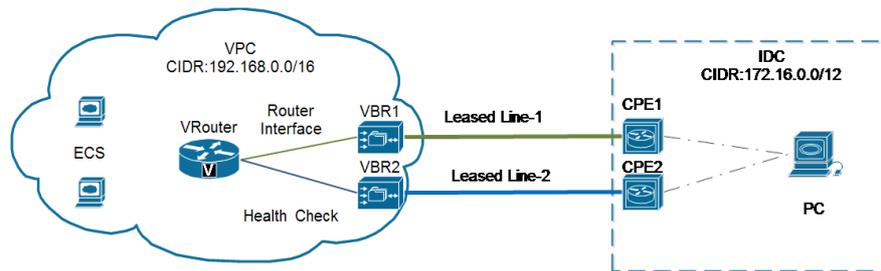
運用例

ダイレクト・アクセスにより、データセンターから VPC に接続することができます。これにより、お客様環境と VPC の間にアクセスラインによる通信が提供されます。

以下の接続事例が想定されます。

- 中国北部 2 (北京) リージョンの物理データセンター (IDC、プライベート CIDR ブロック: 172.16.0.0/12)
- 中国東部 1 (杭州) リージョンの VPC (名前: Cloud_Data_Center、CIDR ブロック: 192.168.0.0/16)

そして、2つの通信事業者と個別に2つの 100 Mbpsアクセスラインを契約し、北京の IDC と北京の Alibaba Cloud アクセスポイントを接続します。



Procedure

To set up redundant physical connection:

ステップ 1: アクセスラインを申し込む

ステップ 2: 配線を完了する

ステップ 3: VBRの作成

ステップ 4: ルータインターフェイスの作成

ステップ 5: 2つのVBRのルート設定

ステップ 6: ECMP ヘルスチェック申請をチケット起票する

ステップ 7: VPCから等価ルートトラフィックをVBRに転送する

ステップ 1: アクセスラインを申し込む

お客様の拠点からVPCへのダイレクト・アクセスが必要な場合、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。提携している通信事業者はこちらです。海外リージョンへの接続の場合はチケットを起票しお問い合わせください。

プライマリのアクセスラインを申し込みます。

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで [アクセスライン] を選択します。
3. [アクセスラインの申請] をクリックします。

次のような必要な情報を設定します。

- アクセスライン名: Beijing_Local
- アクセスポイント: Beijing Beijing-Daxing-A
- 通信事業者: その他(中国)
- アクセスポートの種類: 100Base-T-100M メタルポート
- アクセスラインの帯域幅: 100 Mbps
- アクセスラインの接続先住所: No. XX, XX Street, XX District, Beijing
- 冗長アクセスライン: なし

[申請] をクリックします。

6. アクセスライン一覧ページの上部で、[China North 2 (Beijing)] を選択します。申し込んだアクセスラインを探します。物理接続のステータスは [アクセスラインの準備中] になっています。

メモ: 通常、申請は次の営業日には承認されます。その後、物理接続のステータスは [承認済み] に変わります。

7. [支払い] をクリックして、アクセスラインのアクセス料金を支払います。システムによって、ポートと物理接続 ID が自動的に割り当てられます。この例では、物理アクセスライン ID は pc-123xyz です。

メモ: ポートが割り当てられると、アクセスラインのステータスは [リソースの割り当て中] に変わります。

8. [情報の変更] をクリックして、アクセスラインの情報を確認します (マシンルームの場所、サーバーラックの場所、ポートの情報など)。

セカンダリの物理接続を申し込みます:

1. ExpressConnect コンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションバーで [アクセスライン] を選択します。
3. [アクセスラインの申請] をクリックします。

次のような必要な情報を設定します。

- アクセスライン名: Beijing_Local
- アクセスポイント: Beijing Beijing-Daxing-A
- 通信事業者: China Telecom
- アクセスポートの種類: 100Base-T-100M 電気ポート
- アクセスラインの帯域幅: 100 Mbps
- アクセスラインの接続先住所: No. XX, XX Street, XX District, Beijing
- 冗長アクセスライン: pc-123xyz

注意: セカンダリの冗長回線の場合、同じリージョン内の任意のアクセスポイントを選択できます。プライマリの接続と同じアクセスポイントを選択する場合、プライマリのアクセスラインの ID を冗長アクセスラインとして使用します。異なるアクセスポイントを選択する場合は、2つの回線はもともと冗長であり、冗長アクセス

ラインを選択する必要はありません。

申請を完了し、承認を待ちます。承認後、料金を支払ってポートの場所を受け取ります。

ステップ 2: 配線を完了する

通信事業者にポート情報を提供し、アクセスラインをこのポートに接続するよう指示します。

通信事業者がリソースを調査した後、指定されたデータセンター（名前、ID番号、電話番号を含む）に送信される担当者の詳細を提供します。

チケットを起票して、キャリアスタッフがいつデータセンターにアクセスし、受け取ったスタッフリストと取得した接続IDをいつ提供するかを知らせます。

翌営業日に、アフターセールススタッフは、キャリアスタッフのデータセンターで予定をスケジュールし、連絡先情報を提供します。

通信事業者に連絡先情報を通知します。

通信事業者がデータセンターでの導入を完了すると、アフターセールススタッフは接続ステータスを**[確認待ち]**に変更します。

通信事業者が接続が導入されたことを通知したら、コンソールのアクセスラインページに移動し、**[確認]**をクリックします。

これにより、接続ステータスが標準に変更されます。物理的な接続が現在動作しています。

ステップ 3: VBRの作成

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーの **[VBR]** を選択します。
3. **[VBR の作成]** をクリックします。
4. 関連する設定値を入力します。

注意:

- VLANID: 論理回線を使用する必要がある場合は、1 ~ 2999 を使用して論理 VLAN を定義します。論理チャネルを分割しない相互接続の場合は、VLAN0 を使用します。
- 各 VBR の相互接続 IP アドレスは相互に独立している必要があり、2 つの VBR のアドレスは異なる CIDR ブロックに属している必要があります。

VBR1:

- 名前: Beijing_Border_Router1
- 説明: Beijing leased line
- アクセスライン: pc-123xxx ("Beijing_Local_Connection1" の ID)
- VLANID: 0 (vlanid=0 の場合は、VRouter が使用されていることを示します。特別な要件がない場合は、単に「0」と入力します)
- アクセスラインコード: MSTPxxx1

IP アドレス: Alibaba Cloud 側: 10.100.0.1、お客様側: 10.100.0.10、サブネットマスク: 255.255.255.0

VBR2:

- 名前: Beijing_Border_Router2
- 説明: Beijing leased line
- アクセスライン: pc-456xxx ("Beijing_Local_Connection2" の ID)
- VLANID: 0 (vlanid=0 の場合は、VRouter が使用されていることを示します。特別な要件がない場合は、単に「0」と入力します)
- アクセスラインコード: MSTPxxx2
- IP アドレス: Alibaba Cloud 側: 10.100.1.1、お客様側: 10.100.1.10、サブネットマスク: 255.255.255.0

ステップ 4: ルーターインターフェイスの作成

VRouter インターフェイスを使用して VBR1 を VPC に接続します

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. [ルーターインターフェイスの作成] をクリックします。
3. ルーターのインターフェイスの購入ページで、必要な情報を入力します。たとえば、次のようにします。
 - "VBR" への基本設定を行い、VBR1 の ID を選択します。
 - リージョンを "Beijing Beijing-Daxing-A" に設定します。
 - VPC IDを指定します。
 - 100 M の回線速度を選択します。
4. [今すぐ購入] をクリックします。
5. VRouter インターフェイスのステータスを確認します。このステータスが [有効] に変わると、二つのVRouter インターフェイスが作成されます。
 - VBR1 を VPC VRouter に接続する VRouter インターフェイスインスタンス: ri-VBR1-to-VPC。
 - VPC VRouter を VBR1 に接続する VRouter インターフェイスインスタンス: ri-VPC-to-VBR1。

VRouter インターフェイスを使用して VBR2 を VPC に接続します

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. [ルーターインターフェイスの作成] をクリックします。
3. [ダイレクトアクセス] を選択します。
4. 次のように設定します。
 - “VBR” への基本設定を行い、VBR2 の ID を選択します。
 - リージョンを “Beijing Beijing-Daxing-A” に設定します。
 - ルータータイプを V Router に設定します。
 - VPC ID を指定します。
 - 100 M の回線速度を選択します。
5. [今すぐ購入] をクリックします。
6. VRouter インターフェイスのステータスを確認します。このステータスが [有効] に変わると、二つのVRouter インターフェイスが作成されます。
 - VBR2 を VPC VRouter に接続する VRouter インターフェイスインスタンス: ri-VBR2-to-VPC。
 - VPC VRouter を VBR2 に接続する VRouter インターフェイスインスタンス: ri-VPC-to-VBR2。

ステップ 5: 2つのVBRのルート設定

VBR1 上のセンター側アドレス 172.16.0.0/12 宛てのトラフィックをアクセスラインに転送します。

- i. ExpressConnect コンソールにログオンします。
- ii. [VBR] を選択し、[管理] をクリックして [VBRの詳細] ページに移動します。
- iii. [ルートエントリの追加] をクリックし、次の情報を設定します。
 - i. ターゲット CIDR ブロック: 172.16.0.0/12
 - ii. ネクストホップの方向: アクセスライン
- iv. [OK] をクリックして設定を完了します。
- v. データセンターのサーバーを使用して、Alibaba Cloud のアドレス 10.100.0.1 に ping を実行します。

VBR2 上のデータセンター側アドレス 172.16.0.0/12 宛てのデータをアクセスラインに転送します。

- i. ExpressConnect コンソールにログオンします。
- ii. [VBR] を選択し、[管理] をクリックして [VBRの詳細] ページに移動します。
- iii. [ルートエントリの追加] をクリックし、次の情報を設定します。
 - i. ターゲット CIDR ブロック: 172.16.0.0/12
 - ii. ネクストホップの方向: アクセスライン
- iv. [OK] をクリックして設定を完了します。
- v. IDC のサーバーを使用して、Alibaba Cloud のアドレス 10.100.1.1 に ping を実行します。

VBR1 上の VPC アドレス “192.168.0.0/16” 宛てのトラフィックを VPC に転送します。

- i. ExpressConnect コンソールにログオンします。
- ii. [VBR] を選択し、[管理] をクリックします。

[ルートエントリの追加] をクリックし、次の情報を設定します。

- i. ターゲット CIDR ブロック: 192.168.0.0/16
- ii. ネクストホップの方向: VPC
- iii. ネクストホップ: Beijing_Router_Interface (ri-VBR1-to-VPC)
- iv. [OK] をクリックして設定を完了します。

VBR2 上の VPC アドレス “192.168.0.0/16” 宛でのトラフィックを VPC に転送します。

- i. ExpressConnect コンソールにログオンします。
- ii. [VBR] を選択し、[管理] をクリックします。
- iii. [ルートエントリの追加] をクリックし、次の情報を設定します。
 - i. ターゲット CIDR ブロック: 192.168.0.0/16
 - ii. ネクストホップの方向: VPC
 - iii. ネクストホップ: Beijing_Router_Interface (ri-VBR2-to-VPC)
- iv. [OK] をクリックして設定を完了します。

ステップ 6: ECMP ヘルスチェック申請をチケット起票する

ECMP トラフィックでは、Alibaba Cloud はハッシュアルゴリズムを使用して、2 つの物理回線上のトラフィックと、2 つの回線の 1 対 1 の負荷分散を維持します。

申請を受け取った後、Alibaba Cloud は 1 営業日以内にお客様の VPC に 2 つの IP アドレスを確保します。これらのアドレスは、ヘルスチェックのソース IP アドレスとして使用されます。これらは、3 秒間隔で ping パケットを送信するように設定されます。連続する 5 回の ping 送信に対して応答がない場合、システムは他の回線に切り替えます。

同時に、Alibaba Cloud は、北京 IDC から 2 つのヘルスチェックアドレスへの、2 つの 32 ビットホスト前方参照ルートを自動的に生成します。ヘルスチェックアドレスが 192.168.1.241 と 192.168.1.242 である場合、ユーザー側にアクセスラインを設定する必要があります。次に例を示します。

```
ip route 192.168.1.241/32 10.100.1.1
ip route 192.168.1.242/32 10.100.0.1
```

ステップ 7: VPC から等価ルートトラフィックを VBR に転送する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. [VBR] を選択し、[管理] をクリックします。
3. [ルートエントリの追加] をクリックし、次の情報を設定します。

- ターゲット CIDR ブロック: 172.16.0.0/12
- ネクストホップのタイプ: ルーターインターフェイス
- ネクストホップの方向: アクセスライン
- VRouter インターフェイス: Beijing_Router_Interface1 (ri-VPC-to-VBR1) および Beijing_Router_Interface2 (ri-VPC-to-VBR2)

4. **[OK]** をクリックして設定を完了します。

Alibaba Cloud でのルーティングの設定は以上で終了です。ただし、お客様のアクセスラインデバイスでは、両方のアクセスラインのユーザー側で VPC イントラネットにルートエントリを追加し、Alibaba Cloud 側の IP アドレスに送るようする必要があります。

```
ip route 192.168.0.0/16 10.100.0.1
ip route 192.168.0.0/16 10.100.1.1
```

合計帯域幅は、2つの回線の集約帯域幅になります (100 Mbit * 2)。ECS セキュリティグループルールの調整、RDS ホワイトリストの追加、必要に応じた他の方法の使用により、IDC 機器と Alibaba Cloud プロダクトの間のアクセスを管理できます。

VPCコネクション接続の削除

アプリケーションシナリオ

VPC-A と VPC-B の間の相互通信用の VPCコネクションが不要になったときは、2つの VPC の接続に使われているルーターインターフェイスを削除する必要があります。

手順

ルートエントリを削除する

1. VPC-A に移動し、**[管理]**、**[VRouter]** をクリックします。
2. ルートエントリリストで、次の条件を満たすルートエントリを削除します。
 - 次のホップタイプがルーターインターフェイスである。
 - 次のホップが VPC-A 内にあり、VPC-B への接続に使われているルーターインターフェイスのルートエントリである。
3. VPC-B に移動し、**[管理]**、**[VRouter]** の順にクリックします。
4. ルーティングエントリリストで、次の条件を満たすルートエントリを削除します。
 - 次のホップタイプがルーターインターフェイスである。
 - 次のホップが VPC-B 内にあり、VPC-A への接続に使われているルーターインターフェイスのルーティングエントリである。

VRouter インターフェイスを無効化する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. [ルーターインターフェイス] をクリックします。
3. VPC-B への接続に使用されている VPC-A のルーターインターフェイスを選択し、[無効化] をクリックします。これにより、VPC-A を VPC-B に接続しているルーターインターフェイスが無効化します。
4. VPC-A への接続に使用されている VPC-B のルーターインターフェイスを選択し、[無効化] をクリックします。これにより、VPC-B を VPC-A に接続しているルーターインターフェイスが無効化します。

VRouter インターフェイスを削除する

手順

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. [ルーターインターフェイス] をクリックします。
3. [詳細]、[削除] の順にクリックします。これにより、2つの無効化されたインターフェイスが削除されます。

注意:

- ルーターインターフェイスを無効化する前に、ルートエントリを削除する必要はありません。インターフェイスを無効化すると、関連付けられているすべてのルートが無効になります。
- ルーターインターフェイスを無効化しても課金は続きます。課金を停止するには、インターフェイスを削除する必要があります。
- ルーターインターフェイスに向かうすべてのルートエントリをクリアしていない場合、インターフェイスを削除できません。

アクセスラインの削除

概要

アクセスラインを適切に削除するには、以下のリソースと設定を削除する必要があります。

- VPC ルーターおよび VBR のルーターテーブルで、物理接続を実現するために使用されるルーターインターフェイスを指定している、すべてのルートエントリ
- アクセスラインと相互通信するための、VPC ルーターおよび VBR のルーターインターフェイス
- アクセスラインに関連付けられているすべての VBR
- アクセスライン

手順

物理接続を削除するには:

1. ルートエントリを削除します
2. ルーターインターフェイスを凍結します
3. ルーターインターフェイスを削除します
4. VBR を削除します
5. アクセスラインによるアクセスを終了します
6. アクセスラインを削除します

ルートエントリを削除する

アプリケーションシナリオ

アクセスラインに接続されたVBR への VPC ポイントを設定するエントリを削除した後、VPC への VBR ポイントを設定するエントリを削除します。

注意:

VBR ルートエントリの追加と削除は順番に行う必要があります。前のルートエントリを追加または削除した後でのみ、次のルートエントリを追加または削除できます。

手順

ルートエントリを削除するには、VPC ルーターのルーターテーブルのルートエントリと、VBR ルーターテーブルの関連するルートエントリを、削除する必要があります。

VPC コンソールの場合

1. VPC コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで **[VPC]** を選択し、VPC リストに移動します。
3. 設定する VPC を選択し、対応する **[VPC ID/名前]** または **[管理]** をクリックして、**[VPC 基本情報]** ページに移動します。
4. 左側のナビゲーションバーで **[VRouter]** をクリックし、**[ルーティングエントリリスト]** を表示します。
5. 削除するルーターインターフェイスを指定しているルートエントリを選択し、**[削除]** をクリックします。**[削除ルートエントリ]** ダイアログボックスが表示されます。
6. **[OK]** をクリックして、ルートエントリを削除します。
7. ステップ 5 と 6 を繰り返して、ルーターインターフェイスを指定している他のルートエントリを削除します。

ExpressConnect コンソールの場合

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。

2. 左側のナビゲーションバーの **[VBR]** をクリックします。VBR リストのページが表示されます。
3. 設定する VBR を選択します。VBR の右にある **[管理]** をクリックして、**[VBRの詳細]** ページに移動します。
4. ルートエントリリストで、削除するルーターインターフェイスを指定しているルートエントリを選択し、**[削除]** をクリックします。**[削除ルートエントリ]** ダイアログボックスが表示されます。
5. **[OK]** をクリックして、ルートエントリを削除します。
6. ステップ 4 と 5 を繰り返して、ルーターインターフェイスを指定している他のルートエントリを削除します。

VRouter インターフェイスを無効化する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで、**[ルーターインターフェイス]** を選択します。ルーターインターフェイスリストのページが表示されます。
3. 削除するルーターインターフェイスを選択します。
4. ルーターインターフェイスの右にある **[無効化]** をクリックします。**[無効化 ルーターインターフェイス]** ダイアログボックスが表示されます。
5. **[OK]** をクリックして、ルーターインターフェイスのステータスを **[無効化]** に設定します。
6. ステップ 3 と 4 を繰り返して、他のルーターインターフェイスを無効化します。

VRouter インターフェイスを削除する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで、**[ルーターインターフェイス]** を選択します。ルーターインターフェイスリストのページが表示されます。
3. 削除する **[無効化]** ステータスのルーターインターフェイスを選択します。
4. ルーターインターフェイスの右側の **[詳細]** をクリックし、ドロップダウンボックスの **[削除]** をクリックします。**[削除 ルーターインターフェイス]** ダイアログボックスが表示されます。
5. **[OK]** をクリックしてルーターインターフェイスを削除します。
6. ステップ 4 と 5 を繰り返して、他のルーターインターフェイスを削除します。

VBR を削除する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーの **[VBR]** を選択します。VBR リストのページが表示されます。
3. 削除する VBR を選択します。
4. VBR の右側の **[削除]** をクリックします。**[VBR 削除]** ダイアログボックスが表示されます。
5. **[OK]** をクリックします。
6. ステップ 3 と 4 を繰り返して、他の VBR を削除します。

アクセスラインを終了する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[アクセスライン] を選択します。
3. 終了するアクセスラインを選択します。
4. アクセスラインの右側の [アクセスラインの取り消し] をクリックします。[アクセスラインの取り消し] ダイアログボックスが表示されます。
5. [OK] をクリックします。アクセスラインのステータスが、[標準]、[キャンセル済み]、[終了] の順番に変わります。このプロセスには、最大で 1 分かかることがあります。

アクセスラインを削除する

1. ExpressConnect コンソールにログオンします。
2. 左側のナビゲーションバーで、[アクセスライン] を選択します。
3. 削除するアクセスラインを選択します。
4. アクセスラインの右側の [削除] をクリックします。[削除確認] ダイアログボックスが表示されます。
5. [OK] をクリックして、物理接続を削除します。

BGP ルーティング

ボーダーゲートウェイプロトコル (BGP) は、インターネット上の自律システム (AS) 間でルーティングおよび到達可能性情報を交換するように設計された TCP プロトコルに基づく動的ルーティングプロトコルです。

オンプレミス IDC から Alibaba Cloud への専用ネットワーク接続を確立するときは、BGP を使用して、仮想ボーダールーター (VBR) と IDC 間のネットワーク接続を確立できます。BGP は、より効率的で柔軟で信頼性の高い方法でハイブリッドクラウドを構築するのに役立ちます。

BGP グループ

Express Connect は BGP グループ機能を提供し、繰り返し設定を BGP グループにまとめて BGP 設定を簡略化します。AS 番号に基づいて BGP グループを作成し、その BGP ピアをグループに追加するだけです。

BGP ピア

BGP を介してネイバー関係を確立する必要がある BGP ピアです。各 BGP ピアを個別に設定するのではなく、対応する BGP グループに BGP ピアを追加するだけです。

制限

BGP を使用する場合は、次の点に注意してください。

VBR の BGP ピアは、アクセスラインとのペアリングのみをサポートします。

サポートされる BGP バージョンは BGP4 です。

IPv4 BGP をサポートします。

VBR およびアクセスラインピア用にのみ eBGP ピアを設定することをサポートします。

各 BGP ピアに最大 100 の動的ルーティングを追加できます。

Alibaba Cloud のユニークな ASN は 45104 で、ユーザー側からの 2 ビットと 4 ビットの AS 番号の転送を受け取れます。

BGP ピアグループの作成

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**BGP Group** をクリックします。

BGPピアグループの作成 をクリックします。

BGP ピアグループを設定し、**送信** をクリックします。

設定	説明
名前	BGP ピアグループの名前。
ピアAS番号	ピア AS(自律システム) の番号。
VBR	オンプレミス IDC と接続する VBR。
説明	BGP グループの説明。

BGP ピアグループの削除

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**BGP Group** をクリックします。

該当する BGP ピアグループを確認し、**削除** をクリックします。

確認 をクリックし、BGP ピアグループを削除します。

BGP ピアグループの編集

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**BGP Group** をクリックします。

該当する BGP ピアグループを確認し、**編集** をクリックします。

BGP ピアグループを編集します。

注意: 最大7つのBGPピアを仮想ポータルルータに追加できます。

BGP ピアの作成

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**BGP Peer** をクリックし、**BGPピアの作成** をクリックします。

BGP ピアを設定し、**送信** をクリックします。

設定	説明
BGPピアグループ	BGP ピアの追加する BGP ピアグループを選択。
BGPピアIP	BGP ピアの IP アドレスを入力。

BGP ピアの削除

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**BGP Peer** をクリックします。

該当する BGP ピアを確認し、**削除** をクリックします。

確認 をクリックし、BGP ピアを削除します。

オンプレミス IDC から Alibaba Cloud への専用ネットワーク接続を確立するときは、BGP を使用して、仮想ボーダールーター (VBR) と IDC 間のネットワーク接続を確立できます。

各 BGP グループは VBR に関連付けられます。VBR とオンプレミス IDC 間の接続を確立するには、対応する BGP グループに BGP ピアを追加したうえで、BGP ルートエントリを追加するだけです。

前提条件

BGP ピアグループの管理

BGP ピアの管理

操作手順

Express Connect コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、**物理接続** > **VBR** をクリックします。

該当する VBR の ID をクリックします。

BGPルートエントリの追加 をクリックします。

IDC と接続する VPC または Vswitch の IP アドレス範囲を、CIDR ブロック形式で入力します。

OK をクリックします。